

国際養鶏養豚総合展 2027 の 拡大開催について

会期：2027年5月19日（水）～21日（金）

会場：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

[愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号]

主催：公益社団法人 中央畜産会

1. 国際養鶏養豚総合展 2027 の拡大開催のコンセプト

国際養鶏養豚総合展は、1992年から30年の長きにわたりその時代の最新の施設・機械・システム・商品等の展示会として、養鶏・養豚産業の近代化・効率化に大きく貢献してきた。

一方で世界に目を転じると、Euro Tier（ユーロティア）のように全畜種を網羅し家畜の生産にとどまらず、飼料の生産から畜産物の加工・流通に至るまでのバリューチェーン全体を構成する製品やサービスが一堂に会する展示会が開催され、当該バリューチェーンに関わる全ての人々が技術交流、異業種交流の場として活用し、多くの出展社、来場者の参加を得ている。（Euro Tier2024 速報値：出展社 2,193 社、来場者 12 万人のうち4割は海外 149 개국から来場）

我が国の畜産業が抱える、担い手の不足・高齢化、円安による資機材の高騰、研究者・技術者の減少といった諸課題に対処するためには、畜産業に係る全ての関係者が一堂に会し、最先端の技術・情報等を共有する場を持つことが急務である。

国際養鶏養豚総合展が築いてきた実績を基に畜産の総合展へと拡大・発展させることにより、従来出展のなかった分野からの新規出展、異畜種・異業種間の交流による新たなイノベーションの創出、研究発表の場を拡充させることにより新たな研究開発や産学連携による技術実装、高校生・大学生といった若い世代にアプローチすることにより新たな担い手の育成といった様々な成果が期待できる。

世界と肩を並べ、世界に向けてオール畜産での日本の技術力を情報発信することにより日本の畜産業の更なる発展、引いては食料自給率の向上へと繋げるものである。

2. 出展候補者

(1) 施設・機械関係

農用トラクター

牧草・飼料用機械

飼料調製・貯蔵用施設・機械

家畜飼養管理用施設・機械・器具

生産物処理用施設・機械・器具（牛乳・卵等）

環境保全用施設・機械・器具（空調・脱臭装置等）

家畜排せつ物処理・利用施設・機械

畜舎

ICT 関連

資材 等

(2) 施設・機械以外

動物医薬品・獣医療

飼料・飼料添加物等

肥料・種苗

家畜改良・種畜

家畜衛生

動物福祉

食品安全管理

経営関係

金融・リース

教育・就農支援

研究開発

輸出

地域畜産物

（加工・流通）等

(3) その他

行政（国・都道府県）

愛知県

3. 開催までのスケジュール

展示場施設等の視察	2025年7月1～2日	(施設・機械部会員向け)
出展案内	2025年	夏頃
出展申込開始	2026年	1月頃
出展者説明会	〃	夏頃

4. 開催場所（愛知県国際展示場）の特徴

- (1) 愛知県の全面的な協力
- (2) 国内唯一の常設保税展示場
- (3) 空港隣接の立地による交通利便性
- (4) 屋内続き間で5万㎡、屋外3.6万㎡の大展示場
(ポートメッセ名古屋：2万㎡、屋外展示場無し)
- (5) 大型厨房施設により展示場内での調理、提供が可能 等